

各種スポーツ結果

各種スポーツ結果

◎第35回県少年空手道選手権大会(10月20日、県営武道館)※()は学校

手権大会(11月10日、市民センター体育館)※()は所属

【組手個人】

男子 ▽小学2年 3位 菅原昊生(宮守)、▽小学3年 1位 菊池快(遠野)、2位 櫻井颯哉(青笹) ▽小学5年 1位 小田島史門(上郷) ▽小学2年 1位 菊池弥寛(遠野東) ▽小学3年 1位 細川大輔(遠野)、3位 小嶋心誠(同)

男子 ▽小学1・2年 1位 松田郷(遠野)、2位 菅原昊生(宮守) ▽高校一般 1位 佐々木優太(遠野) ▽女子 ▽小学1・2年 1位 藤原真結(宮守) ▽小学5・6年 2位 長山美空(遠野) ▽高校一般 2位 北湯口霞(遠野)

【組手団体】

女子 ▽小学1年 1位 高橋わかば(綾織) ▽小学2年 3位 菅原美姫(綾織) ▽小学5年 1位 長山美空(綾織)、2位 宮澤花畝(上郷) ▽小学6年 1位 北湯口鮮(附馬牛)、3位 照井楓(宮守) ▽中学生 3位 中世古ひかり(遠野3)

男子 ▽中学 1位 岩手(遠野・細川大輔、小嶋心誠、菊池弥寛) ▽一般 3位 岩手(遠野・多田和広、佐々木優太) ▽女子 ▽小学 3位 岩手B(遠野・照井楓、小嶋ひかり、藤原真結)、岩手A(遠野・長山美空、阿部ゆい、高橋わかば) ▽中学 1位 岩手(遠野・浅沼花南、中世古ひかり、菊池亜美紗) ▽一般女子 1位 岩手(遠野・北湯口霞、中世古なつき)

【組手個人】

男女混合 ▽小学5・6年 1位 遠野市(小田島史門、北湯口鮮、長山美空) ▽男子 ▽中学生 2位 遠野市(細川大輔、小嶋心誠、菊池弥寛) ▽女子 ▽中学生 1位 遠野市(中世古ひかり、菊池亜美紗、浅沼花南)

男子 ▽小学3年 2位 菊池快(宮守) ▽小学4年 3位 松山怜生(宮守) ▽中学2年 2位 菊池弥寛(遠野) ▽中学3年 1位 細川大輔(遠野)、3位 小嶋心誠(同) ▽一般 2位 佐々木優太(遠野) ▽女子 ▽小学1年 3位 高橋わかば

◎第33回全東北・北海道防具付空手道選手権大会

女子 ▽小学1年 3位 高橋わかば



勝利を目指し、激しく打ち合う選手たち

園陸上競技場) ▽女子 ▽中学3000m 3位 及川誌月(遠野1) 10分44秒05

◎さわやか2013県一輪車競技大会

技部門(10月13日、県営武道館) ▽ベア ▽中学生以下の部 1位 菊池彩純(遠野東2)、佐々木朱理(遠野1) 3位 宮澤杏佳(遠野3)、宮澤来実香(同) ▽グループ ▽小学4年以下の部 1位 遠野一輪車クラブ(Amuse) ▽中学生以上の部 2位 遠野一輪車クラブ(Salt)

◎2013さわやか全日本一輪車競技大会

(11月23日、静岡県) ▽アーティスティック部門 ▽女子中学生の部 7位 宮澤来実香(遠野1)

◆平成25年度県マレットゴルフチャンピオン大会

(10月27日、早瀬川緑地グラウンド) ▽団体 ▽男子 優勝 遠野市Aチーム(山口清孝、佐藤正博、菊池寛、菊池貞三郎、阿部公一、菊池春男)

男子 優勝 山口清孝(松崎町)



最後の「春高バレー」へ気合十分の今野君(左)と菊池君

今野大成君、菊池光一郎君(ともに旧青笹中出身)が春高バレーに出場!



一関修紅高バレー部(高橋昇禎監督)の今野大成君と菊池光一郎君(ともに3年)が全日本バレーボール高校選手権大会県予選会で優勝し、来年1月5日から開催される全国大会、通称「春高バレー」への出場を決めた。昨年に続く2連覇で、決勝では8月の県高総体決勝と同じ不来方高戦を制した。

点数を取るなど、攻撃パターンを増やし選手権予選に臨んだ。1セットも落とさず決勝まで勝ち進む圧巻の試合運び。決勝では第3セット目を取られたものの、その他のセットは寄せ付けられない強さで圧倒した。

春高バレーまであと一カ月。キャプテンとしてチームをけん引する今野君は「このメンバーで3年間、全国での活躍を目標に練習してきた。目標のベスト4入りへ、チームには今までにない一体感がある」と力を込める。選手権予選は進学のこともあり出場できなかった菊池君は「去年の春高では武器のサーブが通用しなかった。その後は相手が嫌がるサーブを常に意識しながら練習している」と勝利へ余念がない。



◎Profile ▷今野大成 身長…185cm ポジション…センター ▷菊池光一郎 身長…170cm ポジション…ピンチサーバー ともに旧青笹中バレー部に所属し、一関修紅高へ進学。(来年1月の春高バレーを含め)全国大会に3度出場。



二人を支えてきた高橋監督は「今野はバレーでも、精神面でもチームの大黒柱。要所を決められる強さがあり、彼がキャプテンになったこの1年、県内で負けたことはない。菊池は同級生の中で中学時代唯一、県選抜ではない選手だったが、崩すサーブを武器にベンチ入りを果たした努力家。ムードメーカーの一面もあるので流れを変えたいときに重要な選手と二人を評価する。」

中学校のとき、全国大会なんて考えたこともなかったという二人。ただ一つひとつ上を目指し、練習に打ち込んだ結果、全国の舞台に立っている。「どんな相手でも、勝つことをあきらめなかったこと。それが今につながっているのかな」と二人ともはにかむ。 目標の全国ベスト4へ。二人は集大成の冬を迎える。

Close-up+ クローズアッププラス

第66回全日本バレーボール高校選手権大会 県予選会優勝(一関修紅高)